

メッセージ題「主は救い」 <先週の講壇より>

「そして、その子をイエスと名づけた。」マタイ1:25【口語訳】

「イエス」という名は、旧約聖書では「ヨシュア」、その意味は「主は救い」です。出エジプトの民を約束の地に導いて救いを完成したヨシュア、そしてイエス様は十字架において救いを完成してくださいました。

先週はイエス様の系図の意味についてお話ししました。この系図には華々しい旧約の登場人物の名前が刻まれているとも言えますが、実際には異邦人や不義の関係を結んだ罪人たちや悪の限りを尽くした王などの名前も記されています。偉大な人の系図を残そうと思えば、普通ならそういう人たちは外しておくでしょう。でもここには、それがはっきりと記されています。それはなぜか、それはそれが人の現実だということを示しているように思えるのです。そしてそれは私の人生そのもの、不義、汚れ、罪、そんな私の人生の只中にイエス様はお生まれくださった、この方こそ「主は救い」なのだと語ってくださるようです。

私は神学生時代、悪夢で汗だくで起きたことが何度かあります。それは夢の中なのですが、「お前はそんな罪人なのに牧師になろうとしているのか？笑わせるな」といった声が響いてくる、というものでした。そのたびに私は飛び起きて、すぐにチャペルに行き、祈りをささげたものでした。このような私が牧師として立たせていただいている。ああ、これこそが「主は救い」なのだと実感するものです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021年11月28日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2:15

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

